

世界湖沼会議に繋げる 茨城大学の研究成果と取り組み

第17回 世界湖沼会議(いばらき霞ヶ浦2018)関連講座

茨城大学が後援する第17回 世界湖沼会議(いばらき霞ヶ浦2018)の関連講座として無料公開講座を開講します。第6回 世界湖沼会議(霞ヶ浦'95)から20余年が過ぎ、再び茨城県で世界湖沼会議が開催されます。

本講座では第17回 世界湖沼会議(いばらき霞ヶ浦2018)のテーマ『人と湖沼の共生ー持続可能な生態系サービスを目指してー』について事前に学んでいただきます。

[開催日時]

平成30年 **9月1日** **土**
13:30~15:20

13:00~13:30 受付

13:30~14:15 **湖沼の流域を宇宙や上空から眺めてみると…**

講師:茨城大学広域水圏環境科学教育研究センター
教授 桑原 祐史

14:15~15:00 **湖沼と私たちの生活とのかかわり**

講師:茨城大学理工学研究科都市システム工学領域
准教授 藤田 昌史

15:00~15:20 **第17回 世界湖沼会議(いばらき霞ヶ浦2018)について**

講師:茨城県県民生活環境部環境対策課

[会場] 茨城大学社会連携センター3階研修室(水戸市文京2-1-1)

[対象] 一般・高校生などどなたでもご参加いただけます

[定員] 80名 **無料** (先着順)



第17回 世界湖沼会議
(いばらき霞ヶ浦2018)

[テーマ] 人と湖沼の共生

ー 持続可能な生態系サービスを目指して ー

[会期] 2018年 10月15日(月)~19日(金)

[会場] つくば国際会議場 ほか

公式HP

<http://www.wlc17ibaraki.jp/index.html>

講義内容

湖沼の流域を宇宙や上空から眺めてみると…

[講師] 茨城大学

広域水圏環境科学教育研究センター
教授 桑原 祐史



この講座では、湖沼を含む沿岸域の流域を遠くから観測または計測する方法について説明をします。現在、衛星や航空機、そしてドローンに代表されるUAV(無人飛行躯体)の開発技術が進み、広い領域を短時間で繰り返し観測・計測する技術が開発されています。このような技術の実演を含めて、沿岸域の観測・計測技術の最前線をお話します。



湖沼と私たちの生活とのかかわり

[講師] 茨城大学

理工学研究科都市システム工学領域
准教授 藤田 昌史



茨城県には、霞ヶ浦や濁沼などの湖沼があります。これらの湖沼は、実は私たちの生活と切っても切り離せないものです。本講座では、水利用や生態系サービスの観点から、湖沼と私たちの生活のかかわりを整理したうえで、今後の湖沼環境はどうあるべきなのか? そのために私たちに何ができるのか? について、みなさんと考える機会にしたいと思います。



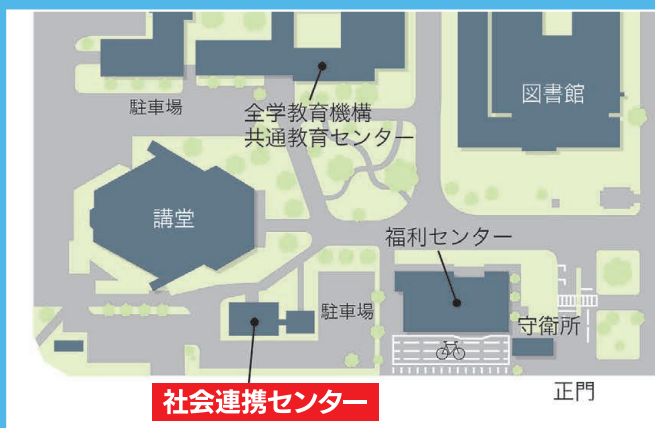
お申し込みについて

茨城大学社会連携センターホームページ (<https://www.scc.ibaraki.ac.jp/kouza/1257.html/>) から、平成30年 8月24日(金)までにお申し込みください。または、下記お問い合わせ先にご連絡ください。

QRコードからアクセスできます→



MAP 茨城大学 水戸キャンパス 校内図



■ 交通案内

JR水戸駅(北口)
バスターミナル
7番乗り場から、
茨城交通バス
「茨大行(栄町経由)」
に乗り、
「茨大前」で下車。

バス乗車時間は
約25分